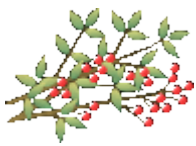




明小だより

平成24年 2月 1日
横須賀市立明浜小学校
校長 小田部忠仁
NO. 13

あきらめなければ夢は叶う



高橋尚子 (元オリンピックマラソン金メダル受賞者)

平成24年(2012年)がスタートして10日たった朝に、とても素晴らしいニュースがありました。それは、去年の女子サッカーワールドカップで優勝した「なでしこジャパン」の澤穂希選手が「年間最優秀選手」に選ばれたということです。ワールドカップに出場するのも素晴らしいことなのに、優勝し、そして、どれだけいるのかわからない女子サッカー選手の頂点に立つなんて、子どもたちだけでなく、大人の私たちにも誇りと自信がわいてくるニュースでした。

本校でもサッカーだけでなく、様々なスポーツに取り組んでいる子どもが少なくありません。

スポーツだけでなく文化的なことに一生懸命取り組んでいる子どももいます。

そこでは、体を鍛えること・技を磨くこと・能力を伸ばすこととともに心(精神面)も鍛えていると思うのですが、なかなかすぐに上手になったり身についたりしないもので、途中で挫折する子どもがいるのも事実です。

しかし、そこをどうこらえながら、次の目標や取り組み(方法)に切り替えていくのが子どもの成長に大切になってきます。澤選手は、若い選手たちが思うようなプレーができないときに「苦しいときは私の背中を見なさい」と言ったそうです。それだけ、一流のプレイヤーでも、基礎練習を大切に、日々全力で努力しているという自負があるからこそ言える言葉です。

子どもが、学習でも友だち関係でも、習い事でも、子どもの悩みを受け止めず「決めるのはあなた」「困るのはあなた」と言って放り出すのではなく、その言葉を受け止め、きちんと話をしてあげること、そして、日々の生活が子どもの手本になるように生きることが求められているのです。

子どもの前では、素晴らしい父や母を演じることが大事なのです。

そして、途中であきらめかけたときに「勉強しなさい」と叱る前に、「あなたの夢は?その夢が実現するために今何をしなければならないの?」と諭すことが重要なのです。

子どもの夢は様々に変化するものです。それでいいのです。まだまだ未熟な子どもたちなのですから、大きな夢・ささやかな夢をもち、子どもなりに努力しようとしているのですから・・・。

澤選手のような言葉を言ってあげられたら素晴らしいですね。

入学説明会が開催されます(2月1日10:00~11:00)

来年度の新一年生の保護者に対して本校体育館で開催いたします。

保育園や幼稚園とは違って「義務教育9年間のスタート」の一年生です。

子どもは子どもなりに不安を持っていると思います。保護者のみなさんも多少不安があると思いますが、ぜひ説明会に参加いただき、子どもの学校生活がスムーズにスタートするようご協力ください。それぞれの家庭で育った子どもたちが、明浜小学校の子どもとして生活し学びを行うわけですから相互理解をしながら、確かな学力と豊かな心をもちたくましい体をつくってほしいと思います。

教育相談は、学校だけでなく横須賀市のはぐくみ館や児童相談所でもできます。また子育て支援についても「はぐくみ館」でできます。一人で悩むだけでなく関係諸機関を上手に活用しましょう。

教育目標 ・よく考える子 ・思いやりのある子 ・進んでやる子 ・命を大切にすること

環境フォーラム

小雪が舞い散る1月21日（土）に、横須賀市子ども環境フォーラムがベイサイドポケットで開催されました。

昨年の秋の社会見学で3年生が、猿島に上陸し海岸から環境調査を体験してきたことや学習したことを成果として発表しました。

会場においでの方々から「さすが明浜小学校の3年生ですね。しっかりしたまとめと上手な発表でした」とお褒めの言葉をいただきました。先生方の指導をいただきながら様々な経験を重ねていくことは、確かな学力につながっていくものです。多くの児童に体験させたいものです。



大縄跳び大会への参加（6年生有志）

昨年の12月から、休み時間や放課後に練習をしてきた大縄飛び！頑張ってくれました。

6年生の有志が、学級の団結や友だちとの絆、そして何よりも担任の先生方との絆を確認し深めるために取り組んだ大縄飛び。一生懸命声を掛け合い、心を一つにして跳んだ大縄飛び。

達成感を感じながら、次へのステップを歩み出した子どもたち。目から溢れる涙は輝いていました。大きく、大きく成長してくれたことを実感した大縄大会でした。沢山の保護者のみなさんも応援に来ていただき、有り難うございました。



インフルエンザの影響で延期になった

明小祭り 2月9日（木）

全国的にも流行し始めた「インフルエンザ」ですが、本校でも1月中旬から罹患した児童が増えてきて、とうとう4学級の学級閉鎖（3日間）を実施したところです。このように学校便りを書いている段階でもインフルエンザによる欠席の連絡が入ってきます。

集団生活をしている関係で、どうしてもインフルエンザに罹患することが防ぐのが難しいところですが、「うがい」「手洗い」「教室の換気」など十分指導しているところです。ご家庭でも学校と同じようにご指導いただくとともに、調子が悪いときは「無理して登校させない」ことをお願いいたします。

学校からの願いとお知らせ

その学年で覚えなければならないことは？

昔もそうであったように、学年ごとに「覚える」「できる」「考えられる」ことが学習の基本です。感性だけで学習するものもありますが、その感性を磨き活用するためには「理性」が重要なのです。その理性が基本なのです。ですから「好きだ」「嫌いだ」で学習をしては自分の良いところが見つからないし、磨くこともできません。今一度前期の通知表をご覧ください、その学年で習得すべきことを確認し、できていなければ「反復して取り組む」中で確実に覚える・できるようにしてください。後でいいとか、次の学年・学校で等と考えていると大変なことになります。とにかく「反復」（繰り返し、繰り返し取り組むこと）が大切です。